

# 講 師 プ ロ フ ィ ー ル

総務省防災意識向上プロジェクト講師

東北防災安全研究所代表

宮城県防災指導員

仙台市地域防災リーダー（SBL）

総合防災アドバイザー

総合危機管理アドバイザー

社会貢献活動支援士

防災士 仙台市若林区在住

やまだ のぶお  
山 田 修 生



## 48年前より自然災害に注目

◇昭和53年ブロック塀倒壊等により犠牲者を出した宮城沖地震（昭和56年建築基準法改正につながる）の被災状況をつぶさに視察。その後、自然災害「防災」に着目、特に、阪神・淡路大震災をはじめ全国の被災地に直行、地震、洪水・土砂災害、暴風、噴火等をつぶさに視察。能登半島地震関連では、令和元年11月穴水町、令和2年2月富山市での防災講演会とともに広域行政で防災に携っている方々との意見交換で情報共有を行い、地震対策とともに線状降水帯発生に伴う豪雨対策などの意見交換を行いました。さらに、昨年の南海トラフ地震や12月8日の青森東方地震、今年1月6日島根東方地震に際しても、現地との連携で対応しています。

## 防災講演会等で防災・減災を

◇総務省防災意識向上プロジェクト講師で北海道、東北、関東、首都圏、東海、近畿、中国、四国等々、全国各地で防災減災の意識高揚とともに、自主防災組織の重要性、コロナ・インフルエンザ渦における避難所運営をともに考えてきました。また、防災マニュアル・防災マップの作成や、防災・避難訓練に立ちあってアドバイスを行っています。

## あの、マグニチュード9.0の時は

◇15年前のマグニチュード9.0の東日本大震災当時、自も被災しながら、全壊のマンション等住民の避難誘導及び残留者の安否確認、避難所開設・運営に全力投球。また、一人暮らし・要支援者の避難確認と支援活動と被災者生活再建支援のため、被災者の方々との個々面談や傾聴とともに、お心に寄り添い必要に応じて行政等にも繋いできました。